

当院回復期病棟に入院し、血液検査を受けた患者さんへ

( 医学系研究に関する情報 )

恒心会おぐら病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究について参加を見送りたい場合などには下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

回復期病棟におけるカルニチン欠乏症リスク因子の探索的検討

【研究機関】

恒心会おぐら病院 リハビリテーション科

【研究責任者】

恒心会おぐら病院 リハビリテーション科 重信恵三

【カルニチンとは】

カルニチンは、体内にある栄養素の一つです。カルニチン欠乏症におちいると、つかれやすくなったり、意識障害やけいれん、こむら返りなどが起こると言われています。

【研究の目的】

上記のように、カルニチンの不足がさまざまな有害な症状をもたらすことが注目されています。しかし、カルニチンが不足している人がどのくらいいるのか、どのような人でカルニチンが不足するのか、詳しくわかっていません。この研究の目的は、回復期病棟に入院中、または入院予定で血液検査を行った患者さんにおいてカルニチンの数値を調査し、関連する症状などを検討することです。この研究を行うことにより、カルニチン欠乏症の予防や治療を考える際に必要な情報が得られることが期待できます。

【研究の方法】

回復期病棟では、入院時と1ヶ月に1回程度血液検査を行っています。通常の血液検査の際、少量の血液があまりますが、このあまった少量の血液からカルニチン計測を行わせていただきます。研究のために改めて採血を行うことはありません。カルニチンの検査を行った患者さんについて、カルニチンの数値およびカルテに記載されている情報として、年齢、性別、身長、体重、食事の内容、血液検査結果、意識状態、治療の経過などを調査します。

【対象となる患者さん】

この研究は当院の回復期病棟に入院または入棟予定で通常の診療として血液検査を行った方が

対象です。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

食事内容、意識レベル（JCS、GCS）、血液検査（カルニチン、アンモニア、BUN、CRE、Alb、血糖値、AST、ALT、Na、K、Ca、Cl、Hb）

身長、体重、使用薬剤（抗てんかん薬、抗生剤）、使用した経管栄養剤、経管栄養の開始時期、FIM、HDS-R、臨床症状の有無（痙攣発作、筋緊張、筋力、こむら返りの有無、横紋筋融解症、嘔吐、心肥大など）、画像検査など

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学病院リハビリテーション科の研究費で実施します。この研究に対する企業等からの資金および労務提供はありませんので、この研究において利害の衝突は発生しません。

【参加を見送りたい患者さんへ】

この研究について参加を見送りたい場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

恒心会おぐら病院

連絡先

TEL：0994-44-7171

FAX：0994-40-2300

〒893-0023 鹿児島県鹿屋市笠之原町 27 番 22 号

担当医師名： リハビリテーション科 上野真